

加古川市における連携中枢都市圏制度の取組について

1 播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンにおける連携事業

加古川市連携事業数：50 事業

※姫路市のみが取り組む「(2) 高次の都市機能の集積・強化」を除く事業数：44 事業

■内訳

分 類	全体	加古川市
(1) 圏域全体の経済成長のけん引	18	18
(2) 高次の都市機能の集積・強化	6	6
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	32	26
ア 生活機能の強化に係る政策分野	20	16
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	6	4
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	6	6
合 計	56	50

2 主な連携事業の進捗状況

(令和 6 年 3 月現在)

分類 ＊	ビジョン (頁)	事業名	主な事業内容、進捗状況
(1)	43	播磨圏域の情報発信	・サンテレビの番組「はりまサタデー 9」において、加古川市の取組を紹介した。(放映内容：かわまちづくり(河川敷イベント)、みとろフルーツパークグランドオープン) ・圏域内の歴史や産業、文化等の資源や魅力について紹介する冊子「はりま読本」(全 121 ページ)を作成し、圏域内の小学 6 年生への配付等を通じて情報発信を行った。 ・圏域 8 市 8 町の PR 動画を作成した。
(1)	50	企業誘致の推進	・各市町の情報を記載した企業進出を促す案内パンフレット及び企業立地についてのアンケートを全国の 6,000 社に対して送付し、圏域の情報発信及び意向調査を行った。
(1)	51	「播磨地域ブランド」の確立	・全国陶器市等の各種イベントにおいて物販ブースを出展し、播磨圏域内の地場産品等の販売・PR を実施。 ・播磨圏域内の日本酒の PR を目的とした「播磨の日本酒試飲会」を実施。 ・播磨圏域内の商業施設(山陽百貨店・イオン加古川店)にて、地場産品の販売促進イベントを実施。 ・姫路城マラソンのイベント会場での物販ブースに出展し、地場産品の物販の実施や試食の提供を実施。
(1)	55	広域観光の推進	・広域観光パンフレットを作成し、イベントでの配布や、高速道路のサービスエリア(10 箇所)での設置を行い、圏域外の住民に向けて、圏域の観光情報や魅力を発信した。 ・姫路観光情報サイト内に設置している広域観光情報ウェブページ「はりま路をゆく」により、圏域内の市町の魅力を発信した。
(1)	56	インバウンド観光の推進	・デスティネーションキャンペーンコンテンツとして、発酵食品の製造体験と国宝寺院での修行体験を組み合わせたツアー「国宝寺院と伝統醸造食品で心と体を醸す旅」の参加募集を行った。 ・デスティネーションキャンペーン特別企画として、2 つの「播

			磨の法隆寺」特別拝観と寺宝特別展示（２体の植髪太子同時公開）を鶴林寺、斑鳩寺及び太子町と連携して実施した。 ・広域観光パンフレット「姫路・はりま」（英語、タイ語、マレー語、インドネシア語）、広域観光情報ウェブページ「はりま路をゆく」等を活用し、各種イベントで播磨圏域の観光ＰＲを実施した。
(3)	77	図書館の相互利用促進	・播磨圏域各市町の在住者について図書館の利用登録の対象として、貸出等の利用サービスを行っている。（Ｒ５年度新規登録者数１,３１６人、Ｒ６年４月現在登録者総数９,３７９人） - また、加古川市在住者が圏域各市町の図書館で貸出等の利用サービスを受けることができる。 ・加古川市の図書館ＨＰにおいて「８市８町相互利用図書館横断検索」サイト(https://uf-pub01.ufinity.jp/himeji_lib/)へリンクを設定し、案内を行っている。 ・加古川市の図書館で利用登録を行った圏域各市町の在住者は、パスワードを作成して加古川市電子図書館の利用することもできる。（Ｒ６年６月現在対象者数２,５９２人）
(3)	81	若年者等の就業支援	・ハローワークや経営者協会等と連携し、関係市町の事業者や求職者等を対象とした合同就職説明会を開催した。 （加古川市開催：２回　加古川市内参加事業者数：９社）
(3)	98	職員研修事業	・８市８町１団体で構成される播磨自治研修協議会が主催する研修に、延べ１０５名の職員を派遣した。また、実施された研修（全２６講座）のうち２講座について会場を提供した。